

世界初^{※1}、8K(スーパーハイビジョン)放送^{※2}対応受信機を開発

シャープは、8K(スーパーハイビジョン)放送の受信が可能な高度広帯域衛星デジタル放送受信機を開発しました^{※3}。

本機は、本年8月から開始予定の8K(スーパーハイビジョン)試験放送に対応した専用受信機として開発しました。当社製の8K映像モニター<LV-85001>と接続すれば、フルハイビジョン画質の16倍の解像度を持つ3,300万画素の超高精細映像を表示することが可能です^{※4}。

また、同時に複数の番組を放送する4Kのマルチ編成放送を受信^{※4}できるほか、8K放送の特長である三次元音響の22.2ch音声出力^{※5}、従来のテレビ放送より多彩な表現を可能とする新字幕、新データ放送などのマルチメディアサービスにも対応しています^{※6}。

当社は今後も、2018年に予定されている8K実用放送の開始に向けて、8K・次世代放送関連機器の開発に取り組んでまいります。

なお、本機は2016年5月26日(木)～29日(日)に開催されるNHKの「技研公開2016」に展示される予定です。

■ 主な特長

1. フルハイビジョン画質の16倍の解像度を持つ、超高精細(3,300万画素)の8K放送を受信可能
2. 4K放送のマルチ編成放送を受信可能
3. 5.1chサラウンドを遥かにしのぐ、三次元音響の22.2chの音声出力に対応



シャープ 高度広帯域衛星デジタル放送受信機

●開発中の端末であり、変更になる場合があります。

- ※1 2016年5月25日現在。(当社調べ)
- ※2 高度広帯域衛星デジタル放送(8K試験放送)のみの受信が可能です。
- ※3 一般のお客様への販売はしておりません。
- ※4 当受信機はBS17chで放送される試験放送のみ視聴可能です。
- ※5 22.2chを楽しむためには、別途AVアンプやスピーカーの設置が必要です。
- ※6 一部非対応の機能があります。